

エマージングマーケットウィークリー

国際為替部
多田 健太
03-3242-7065
kenta.tadaide@mizuho-cb.co.jp

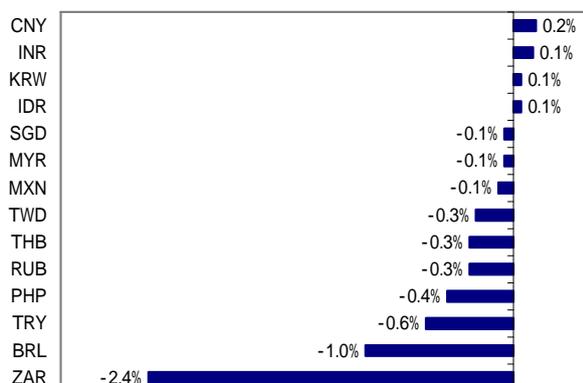
今週のエマージングマーケット

市場の分断

週初12日は前週末に発表された米国と中国の良好な経済指標の結果を受け、アジア通貨は好調な滑り出しとなった。また、中国人民銀行（中央銀行、PBoC）が対ドルでの基準値を大幅な人民元高方向に引き上げたこともあって、台湾ドルは年初来高値を更新した。その後は米国市場が休場の中で動意に乏しい値動きとなり、翌13日のアジア時間はシンガポール等が休場となる中、ユーロ圏財務相会合でギリシャ向け次回融資実行に関して合意に至らなかったことが嫌気され、エマージング通貨は軟調地合いとなった。14日にかけてもリスクオフムードが支配的となる中でアジア通貨は上値重い時間帯が継続したものの、韓国ウォンは韓国銀行の金仲秀総裁が韓国経済は2013年後半に加速するとの見通しを示したことなどから輸出勢のドル売りが優勢となり年初来高値を更新した。15日も米国「財政の崖」問題やギリシャ問題等への懸念が燻る中でリスクオフムードは変わらなかったが、日本の政権交代の可能性とそれに伴う日銀緩和観測を背景とした円売りが強まる中、ユーロ/円の上昇に連れてユーロ相場は堅調に推移し、エマージング通貨も買い進められた。そうした状況下、アジア通貨は総じて底堅い動きだった一方で、貿易赤字への根強い懸念や経済指標の悪化を嫌気してZARが売られたほか、介入によって上昇が見込み難いBRLも売りが優勢だった。

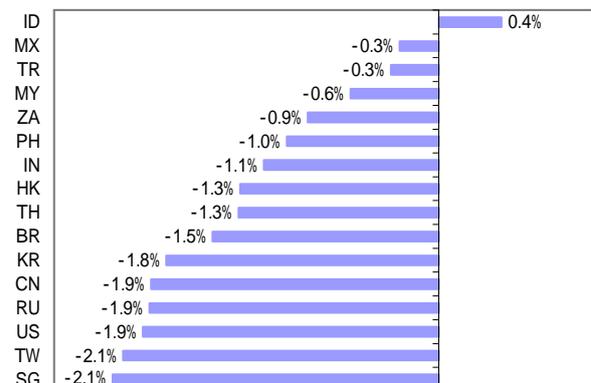
中東欧・アフリカ、中南米通貨
はリスクオフの動き。

エマージング通貨騰落率(対ドル)



(資料) Bloomberg

エマージング株式騰落率



(資料) Bloomberg

(注) US: 米国S&P500種指数, KR: 韓国総合株価指数, TW: 台湾加権指数, HK: 香港ハンセン指数, CN: 中国上海総合指数
SG: シンガポールST指数, TH: タイSET指数, ID: インドネシアジャカルタ総合指数, MY: マレーシアFTSEブルサマレーシアKLCIインデックス
PH: フィリピン総合指数, IN: インドSENSEX30種指数, TR: トルコイスタンブールナショナル100種指数
RU: ロシアRTS指数, ZA: 南アフリカFTSE/JSEアフリカ全株指数, BR: ブラジルボベスバ指数, MX: メキシコボルサ指数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほコーポレート銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

来週のエマージングマーケット

リスクオフと米為替政策報告書

市場は財政の崖と欧州問題からリスクオフが継続。但し、アジアは特殊要因。

エマージングマーケットでは、アジア通貨と中東欧・アフリカ及び中南米通貨の分断された動きが継続している。基本的に国際金融市場は米国の「財政の崖」問題やギリシャ問題を懸念してリスク回避ムードに覆われている。株式市場では米国株式市場をはじめとして、新興国株式市場でも軟調地合いとなっており、エマージング通貨にとっては逆風である。こうした流れの中では、本来ならばエマージング通貨は売られるのがセオリーであり、中東欧・アフリカ及び中南米通貨は概ね違和感のない動きとなっている。だが、アジア通貨、特に年初来高値を更新している韓国ウォン、台湾ドル、中国人民元など東アジア通貨の動向は異様な光景である。詳しくは本日発行の通貨ニュース『韓国ウォン高は続くのか?』を参照されたいが、東アジア通貨の堅調ぶりは米為替政策報告書の存在が影響していると考えられる。10月の予定だった同報告書の公表は11月4~5日のG20財務相・中央銀行総裁会議以降に延期されており、近々公表されると思われる。同報告書が公表されるまでは基本的に東アジア通貨買いの流れは変わらないと予想され、他アジア通貨も底堅い値動きとなるだろう。

だが、来週も欧州では20日(火)に臨時ユーロ圏財務相会合、22~23日には臨時EU首脳会議が予定されており、ギリシャ問題などが議論される見込みだが、20日(火)の臨時会合でも結論が出るかどうか不透明な情勢であり、市場の懸念は払拭されない公算が大きい。また、米国「財政の崖」問題を巡っても調整は困難を極めるとみられ、リスク回避ムードを脱するのは期待し難い。

また、今週は日本の総選挙で自民党が政権を奪取し、日銀に追加金融緩和のプレッシャーがかかるとの思惑から円売りが強まった。為替相場の中心は円相場となっており、エマージング通貨の株式市場等への感応度は低下している印象である。今週みられたように、リスクオフの下でもユーロが底堅い展開となれば、エマージング通貨も買い進められる時間帯がありそうである。

経済指標では、19日(月)に米10月中古住宅販売、20日(火)には米10月住宅着工の発表があり、米住宅市場の緩やかな回復傾向を確認できれば市場の悲観論は後退すると思われるが、「財政の崖」問題を控える以上、楽観的になるには限界があろう。また、22日(木)には中国11月HSBC製造業PMI(速報値)の発表があり、中国経済の安定化を強める結果となればアジア通貨を押し上げるだろう。

エマージングマーケット:地域別

エマージングアジア

韓国は介入に慎重なトーン。
米為替政策報告書の公表後
の動向が焦点となる。

上述したように、韓国ウォンは6月以降、上昇トレンドが続いており、5月25日につけた年初来安値である1185.53から11月14日につけた年初来高値である1085.05まで9%以上上昇している。特に、10月末にそれまで当局の防衛ラインと考えられていた1100をあっさりと抜けてからは、売り遅れた輸出勢のドル売りが断続的に持ち込まれている模様。また、12日(月)には韓国銀行の金仲秀総裁が「韓国政府と中央銀行は為替市場に介入しない。我々は、スミージングオペレーションはするかもしれないが、為替レートはファンダメンタルズによって決まる(12日、ブルームバーグ)」と発言するなど、介入に対して消極的な姿勢をみせている。本欄では、米為替政策報告書の公表を控えての発言とみるが、介入姿勢の変化(消極化)は輸出勢のドル売りを促していると考えられるだろう。米為替政策報告書の公表とその後の韓国当局の動向を注視していきたい。

中東欧・アフリカ

貿易赤字への懸念から軟調。
リスクオフに伴いランド軟調
地合いが継続しそう。

南アフリカランドは年初来で9%以上下落し、ブラジルレアルと並んで主要エマージング通貨の中で軟調地合いが目立っている。ストライキや米格付け会社の格下げ、貿易赤字への懸念などが背景にあり、今週も世界的なリスクオフの流れを受けて、ランドは年初来安値近辺まで弱含んだ。10月31日に発表された南ア9月貿易収支は、市場予想の82億ランドの赤字を上回る138億ランドの赤字となり、前月の122億ランドの赤字から赤字幅が拡大し、今年最大規模の赤字となった。ストライキの影響で鉱物生産品など資源輸出が低迷したことが響いており、8日に発表された9月鉱物生産量も前年比8.3%と予想の同4.5%を上回る大幅な悪化となるなど、ストライキの影響が生産面からも確認できる。また、14日の9月実質小売売上高は同4.3%増と引き続き内需拡大の動きが窺えたものの、市場予想の同4.8%を下回ったことからランド売り圧力となった。金融市場では米国「財政の崖」問題や欧州債務問題への懸念からリスクオフムードが続いており、ストライキは収束に向かっているとは言え、依然として先行き不透明感が残るほか、貿易赤字拡大への懸念もあってランドが売られやすい時間帯が続きそうである。

エマージング経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	単位	市場予想	前回値	発表値
エマージングアジア						
9日(金)	韓国	金融政策決定会合	%	2.75	2.75	2.75
9日(金)	マレーシア	9月 輸出	前年比、%	2.9	4.5	2.6
9日(金)	中国	10月 消費者物価指数	前年比、%	1.9	1.9	1.7
9日(金)	中国	10月 生産者物価指数	前年比、%	2.7	3.6	2.8
9日(金)	中国	10月 鉱工業生産	前年比、%	9.4	9.2	9.6
9日(金)	中国	10月 固定資産投資	前年比、%	20.6	20.5	20.7
9日(金)	中国	10月 小売売上高	前年比、%	14.4	14.2	14.5
10日(土)	中国	10月 輸出	前年比、%	10.0	9.9	11.6
12日(月)	中国	10月 新規融資	億元	5,900	6,232	5,052
12日(月)	インド	9月 鉱工業生産	前年比、%	2.8	2.3	0.4
13日(火)	フィリピン	9月 輸出	前年比、%	4.6	9.0	22.8
14日(水)	インド	10月 卸売物価指数	前年比、%	7.90	7.81	7.45
15日(木)	シンガポール	9月 小売売上高	前年比、%	3.9	3.3	2.5
15日(木)	フィリピン	9月 海外労働者(OFW)送金	前年比、%	7.0	7.6	5.9
16日(金)	香港	7~9月期 実質GDP	前期比、%	1.7	1.2	
16日(金)	シンガポール	10月 輸出(除く石油)	前年比、%	3.1	3.4	7.9
16日(金)	シンガポール	7~9月期 実質GDP(確報値)	前年比、%	0.9	1.3	0.3
16日(金)	マレーシア	7~9月期 実質GDP	前年比、%	4.8	5.4	
19日(月)	タイ	7~9月期 実質GDP	前年比、%	3.0	4.2	
20日(火)	台湾	10月 輸出受注	前年比、%	0.50	1.90	
21日(水)	マレーシア	10月 消費者物価指数	前年比、%	-	1.3	
22日(木)	香港	10月 消費者物価指数	前年比、%	-	3.8	
22日(木)	中国	11月 HSBC製造業PMI(速報値)	-	-	49.5	
23日(金)	台湾	7~9月期 実質GDP(確報値)	前年比、%	1.00	1.02	
23日(金)	台湾	10月 鉱工業生産	前年比、%	3.21	3.00	
23~28日	タイ	10月 輸出	前年比、%	-	0.2	
23日(金)	フィリピン	7~9月期 実質GDP	前年比、%	-	5.9	
23日(金)	シンガポール	10月 消費者物価指数	前年比、%	-	4.7	
中東欧・アフリカ						
9日(金)	ロシア	9月 貿易収支	億ドル	140	126	171
9日(金)	ロシア	金融政策決定会合	%	4.25	4.25	4.25
12日(月)	ロシア	7~9月期 実質GDP	前年比、%	2.8	4.0	2.9
14日(水)	南アフリカ	9月 実質小売売上高	前年比、%	4.8	6.7	4.3
15日(木)	トルコ	9月 経常収支	億ドル	30	15	27
16~19日	ロシア	10月 鉱工業生産	前年比、%	2.4	2.0	
20日(火)	トルコ	金融政策決定会合	%	5.75	5.75	
21日(水)	南アフリカ	10月 消費者物価指数	前年比、%	5.4	5.5	
19~21日	ロシア	10月 実質小売売上高	前年比、%	4.5	4.4	
19~21日	ロシア	10月 設備投資	前年比、%	0.9	1.3	
ラテンアメリカ						
10日(土)	メキシコ	金融政策決定会合議事要旨				
12日(月)	メキシコ	9月 鉱工業生産	前年比、%	3.3	3.6	2.4
13日(火)	ブラジル	9月 小売売上高	前年比、%	8.7	10.0	8.5
14日(水)	ブラジル	9月 経済活動指数	前年比、%	0.67	2.73	0.44
16日(金)	メキシコ	7~9月期 GDP	前年比、%	3.6	4.1	
21日(水)	メキシコ	9月 小売売上高	前年比、%	-	4.8	
22日(木)	ブラジル	9月 経常収支	百万USDドル	4,735	2,596	

(注) 2012年11月9日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。

エマージング通貨相場見通し

		2012年 1～10月期(実績)	SPOT	12月	2013年 3月	6月	9月	12月
対ドル								
エマージングアジア								
韓国ウォン (KRW)		1090.00 ~ 1185.53	1087.88	1100	1100	1090	1080	1080
台湾ドル (TWD)		29.084 ~ 30.345	29.102	29.40	29.30	29.20	29.10	29.10
香港ドル (HKD)		7.7500 ~ 7.7715	7.7517	7.76	7.76	7.76	7.76	7.76
中国人民元 (CNY)		6.2340 ~ 6.3964	6.2339	6.29	6.28	6.27	6.24	6.23
シンガポールドル (SGD)		1.2152 ~ 1.3006	1.2258	1.23	1.23	1.22	1.22	1.20
タイバーツ (THB)		30.20 ~ 32.00	30.74	31.00	30.50	30.50	30.00	30.00
インドネシアルピア (IDR)		8875 ~ 9662	9629	9600	9600	9500	9500	9500
マレーシアリング (MYR)		2.9927 ~ 3.2072	3.0680	3.07	3.04	3.04	3.01	3.00
フィリピンペソ (PHP)		41.120 ~ 44.350	41.273	41.50	41.00	41.00	40.50	40.50
ベトナムドン (VND)		20550 ~ 21158	20850	21000	21000	21500	21500	21500
インドルピー (INR)		48.609 ~ 57.328	54.685	54.50	54.50	53.50	52.50	52.50
中東欧・アフリカ								
トルコリラ (TRY)		1.7361 ~ 1.8986	1.8010	1.85	1.90	1.85	1.80	1.80
ロシアルーブル (RUB)		28.8442 ~ 34.1451	31.6657	32.00	33.00	32.00	32.00	31.00
南アフリカランド (ZAR)		7.4025 ~ 8.9942	8.9395	8.70	8.90	8.70	8.60	8.60
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル (BRL)		1.6890 ~ 2.1062	2.0666	2.05	2.05	2.03	2.03	2.03
メキシコペソ (MXN)		12.5500 ~ 14.5997	13.2197	13.30	13.50	13.20	13.00	12.80
対円								
エマージングアジア								
韓国ウォン (100KRW)		6.565 ~ 7.463	7.457	7.09	7.36	7.34	7.50	7.59
台湾ドル (TWD)		2.528 ~ 2.849	2.789	2.65	2.76	2.74	2.78	2.82
香港ドル (HKD)		9.803 ~ 10.844	10.468	10.05	10.44	10.31	10.44	10.57
中国人民元 (CNY)		12.044 ~ 13.314	13.009	12.40	12.90	12.76	12.98	13.16
シンガポールドル (SGD)		59.14 ~ 66.59	66.19	63.41	65.85	65.57	66.39	68.33
タイバーツ (THB)		2.404 ~ 2.734	2.640	2.52	2.66	2.62	2.70	2.73
インドネシアルピア (100IDR)		0.806 ~ 0.920	0.843	0.813	0.844	0.842	0.853	0.863
マレーシアリング (MYR)		24.203 ~ 27.520	26.443	25.41	26.64	26.32	26.91	27.33
フィリピンペソ (PHP)		1.735 ~ 1.959	1.966	1.88	1.98	1.95	2.00	2.02
ベトナムドン (10000VND)		35.96 ~ 40.67	38.92	37.14	38.57	37.21	37.67	38.14
インドルピー (INR)		1.385 ~ 1.683	1.483	1.43	1.49	1.50	1.54	1.56
中東欧・アフリカ								
トルコリラ (TRY)		40.508 ~ 46.790	45.048	42.16	42.63	43.24	45.00	45.56
ロシアルーブル (RUB)		2.285 ~ 2.879	2.562	2.44	2.45	2.50	2.53	2.65
南アフリカランド (ZAR)		8.693 ~ 11.090	9.082	8.97	9.10	9.20	9.42	9.53
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル (BRL)		37.743 ~ 47.733	39.251	38.05	39.51	39.41	39.90	40.39
メキシコペソ (MXN)		5.332 ~ 6.651	6.137	5.86	6.00	6.06	6.23	6.41

(注) 1. 実績の欄は10月31日まで、SPOTは11月16日の10時20分頃。

2. 実績値はブルームバーグの値などを参照。

3. 予想の欄は四半期末の予想レベル。